

日本基督教団(東京教区・北支区) 創立 1970 年 11 月 1 日		No. 2550	
<h1>百人町教会週報</h1>		2019 年 9 月 8 日	
<h2>主日礼拝順序</h2>		司会 小池健治	
		証詞 賈 晶淳	
		奏楽 泉谷五十鈴	
		受付 赤尾泰子	
前奏 Prelude			
讃美 Hymn	214 番 (わが魂のひかり)		
聖書 Scripture	マタイによる福音書 16 章 13-20 節 (新 31p)		
祈祷 Prayer			
使徒信条 A Apostles' Creed	93-4 1A		
献金 Offering			
献金の祈り Offering Prayer			
報告 Report			
讃美 Hymn	390 番 (主は教会の基となり)		
証詞 Testimony	「墓岩の上に建つ教会」		
祈祷 Prayer			
讃美 Hymn	458 番 (信仰こそ旅路を)		
昼食 Commensal			
応答 Response			
祈祷 Prayer			
後奏 Postlude	* 讃美歌の時は座ったままでも結構です。		
次週	司 会	証 詞	奏 楽
	古野明美・佐藤かよ子・西堂いづみ・小池恵子・北 博		

今年の聖句
 夢を見、若者は幻を見る。『ヨエル三の一』
 あなたはすべての人にわが霊を注ぐ。『ヨエル三の一』
 あなたはすべての人にわが霊を注ぐ。『ヨエル三の一』

今週の聖句
 『わたしも言っておく。あなたはペトロ。わたしの岩の上にわたしの教会を建てよう。陰府の力もこれに對抗できない。』マタ一六の一八

※ 本日の集会				
世話人会 礼拝後				
財政検討委員会 世話人会後				
※ 今週の集会				
自然農の会 9月10日(火)午後3時～夕食 ASO ハウス				
北支区学習会 9月13日(金)午後6時半～ 信濃町教会 「合同のとらえなおし」を振り返る 講師 戒能信生氏				
※ 来週の集会				
主日礼拝 9月15日(日)午前10時半 証詞 佐藤かよ子氏				
聖書研究会 9月18日(水)午後7時 夕食～ 石原氏宅 聖書 民数記 16 章 担当 山崎麻里子氏 ※夕食は各自持参				
家庭集会 9月20日(金)正午 昼食～ 牧師館 聖書 出エジプト記 2 章 担当 小野寺寿々恵氏 DVD 鑑賞 韓国映画『タクシー運転手』				
※ 案内と消息				
前中榮子氏リサイタル 9月16日(月)14時半 ふるさと新座館				
有志による韓国旅行 11月5日(火)-8日(金) 目的 観光とOB訪問 案内 賈 晶淳氏 参加費 実費				
第10回日韓宣教協議会 11月9日(土)-12日(火) 韓国ソウル&鉄原(参加申請 9月15日〆切)				
※ 先週の集会報告				
	女	子	男	計
主日礼拝	9/1	12	6	18
聖書研究会	9/4	4	2	6
自然農の会	9/10			
家庭集会	9/20			
パンをさく会	9/27			
	席上献金			
主日礼拝	29,650			

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 <http://www.hyakunincho-church.com> 携 090(6176)5403
 連絡先 〒162-0066 新宿区市谷台町 14-1-701 賈 晶淳(カジヨンス) Tel/Fax 03(6273)2930 E-mail roba1970@purple.plala.or.jp

◇牧師日誌◇ No. 624
 8月20日から9月3日までイタリアに行ってきた。家族3人での海外旅行は今回が初めてのことで、レンタカーを借り北はアルプスのモンテ・ビアンコ(白い山 4810m、=モン・ブラン)から南はアマルフィまで14日間走り回った。車で走った距離は約3千kmで、足で歩いたのは130km程。大体の町では中心街に車を入れられないため郊外の駐車場付きの宿から一般交通手段を利用し移動するパターンであった。耳で聞いた分、事前に勉強した分を五感で確認する旅でもあったが、イタリアに行ってから初めて知り、訪ねた場所も結構あった。町を離れると見えるのはなだらかな山々と農村風景。特に印象深かったのは道路沿いの山の上に、お城と教会が高い所にあり、その周りに展開している古い町々の風景であった。車での旅は便利で費用や時間も節約できる。電車やバスのように待つこともなく、行きたい所にいつ、何度でも行ける。例えば、ローマからナポリまでの電車の所要時間は、待ち時間除いて約4時間かかるが車であれば約2時間で行ける。高速道路のスピード制限は殆どの所が130kmで少し不安でもあったが直ぐ慣れた。道路や観光地はオフシーズンであったためかそれほど混んではなかったような気がする。それに運転兵出身の熙俊のお蔭で、内心諦めていたアマルフィ海岸絶壁を走る狭くて恐ろしい道をお任せ、気楽に絶景を楽しむことができた。訪ねた町はアッシジ、フィレンツェ、ヴェネツィア、ヴェローナ、ミラノ、ローマ、ナポリ、ピサ、ナポリ、ポンペイ、ソレント、アマルフィ等である。中でもローマで念願の「カタコンベ」に行けたこと、帰る間にボルゲーゼ美術館のカラヴァッジョの絵を鑑賞できたこと、ローマでは赤尾曜さんと悠さんにお世話になり、悠さんご家族に会えたこと、ナポリではバーリで音楽を勉強している趙ヒョンモ君と三日間を一緒に過ごせたこと、そして皆様のご応援のことに感謝。

◇会員日誌◇ 千葉道代
 2019年は体調が悪い中で始まった。年末から膀胱炎の症状が続き、薬を飲んででもなかなか改善しないため、病院通いが始まった。そのうちに、私の飲んでいる別の薬の副作用ではないか、ということになった。一年前に手術したデスマイド腫瘍の再発を防ぐという事で飲み続けていた。検査をしても細菌は出ないのに、不快感がいつまでも続く。そこで、デスマイド腫瘍のための薬をやめた。
 3月に入ると、5月に予定の合唱団のコンサートが近づいて、練習もこれ以上休めない。静かにしていると良くなるが団の練習に出て行くと不快感がぶり返す、という繰り返し。で、不快感を取る薬を飲むことになった。
 副作用として「喉が渇きますよ」と確かに言われたのだが。それほど気にせずに飲んでいたら、だんだん声が出にくくなってきた。これは練習不足か、と多少自分の練習量を増やしているうちにいよいよ声が出なくなって。
 たまたま、おしゃべりしていた西堂さんに耳鼻咽喉科に行くように勧められて行ったら、なんと、喉に結節が出来ている、と言う。それが本番前2週間で、さすがに焦った。アンコールで歌う予定だったのが、お医者様としては「歌わない方が…」
 話すのをやめ、合唱団指導も出来るだけ声を使わないようにして、本番を迎えた。
 不思議なもので、本番だけは思い切って歌えた。心配してくれていた合唱団のメンバーや事情を知っている会場の人々がホッと安心したのが雰囲気伝わってきた。というわけで無事にコンサートが終わったが、その数日後からまた調子が悪くなって寝込む日々。
 次は7月の東京都合唱祭参加がある。薬をやめて、なるべく体力温存に留意しつつ、無理のないように練習を重ねていった。結果としてコンサートも合唱祭も素晴らしい高評価をいただき感謝でいっぱい。
 体の弱い指導者を支えてくれた団員や奏楽を外してくれた教会に感謝、感謝。